

国見公民館だより

福井市鮎川町 133-1-3 TEL/FAX 88-2004 E-mail: kunimi-k@mx1.fctv.ne.jp

令和6年7月20日発行 第37号(令和6年度第5号)

❖学校再編と未来創造住民検討会

6月16日(日)午後6時30分から、国見公民館にて学校再編と未来創造住民検討会が開催され、約60名の住民が参加した。まず松井公民館長から本件討会を地域の教育事業(世代間交流事業)として取り組むようになった経緯や今後の計画等の説明があった後、教育委員会学校教育課の塚本副課長が令和2年5月に「福井市学校規模適正化検討委員会」が答申した「福井市小中学校の学校規模及び配置の適正化について」の内容に基づき、次の項目の説明があった。

①学校規模適正化の検討の経過 ②小規模校のメリットとデメリット ③児童や生徒数の推移と今後の見通し ④再編の場合に想定される課題 ⑤再編を行う場合のスケジュール ⑥他地区の例 ⑦その他

その後行われた質疑応答や意見交換の主な内容は次のとおり。

①地域にとって学校との関係は重要なので、今後の協議の内容は住民にもオープンに行なって欲しい。②現在も小規模校間の独自性のある交流事業等を行なっているが、柔軟性を持たせて大規模校との交流事業も行なってみたらよいのでは。③複式学級の小学校が再編されて複式学級でなくなると、カリキュラムの調整が必要なので困難なのは。④学校再編の根本的課題は人口減少問題なので、この検討会に市の地域振興や移住を担当する部署を呼んでは。⑤学校再編となると地域や保護者の負担が大きいのので急がないで欲しい、地域の過疎問題の抜本的な改革を考えて欲しい。⑥何を以って学校規模適正化というのか疑問だ、小規模校でも児童や生徒にとってデメリットばかりではない。⑦他県では街中に住んでいる子供たちのうちの希望者をバスで田舎の学校に通学させ、自然を活かした特色のある教育を受けさせている例もある。⑧小規模校でも魅力ある教育を行なっているので市役所も何か方法がないか考えてもらいたい。⑨本当に児童数が少ない学校の場合、再編はしたほうが良いと思うが、まだそうでないのに今考える必要があるのか。⑩遠距離通学になると除雪体制のことが心配。⑪今回は10年後までの児童数の推移の説明があったが20年先の人口推移も考慮した対策を考えて欲しい。⑫複式学級の教員には特殊な指導技術が求められるとの説明であったが、日本ではこれから複式学級が増えてくると思われるので教職員には複式学級で教える技術を身に付けて欲しい。

なお今回の住民検討会の概要については、国見公民館のホームページ(<https://teamt.jp/kunimi-k/>)の教育事業に掲載しています。また住民検討会の結果を受けて、運営員会では9月に予定されている次の検討会を準備する予定となっている。



公民館のホームページ QR コード

❖ 地区防災研修会

6月23日(日)の福井市の総合防災訓練は悪天候のため中止となったが、国見地区独自の取組である国見地区避難所開設初動対応研修は午前9時30分から、国見公民館にて開催され、国見地区自主防災組織連絡協議会の構成員約20名が参加し、避難所における炊出マニュアルの内容を研修した。

これまでの避難所開設の経験から、初動時には行政(市役所)の支援が手薄になり最初の24時間は国見地区自主防災組織連絡協議会が主体となる必要があり、本年1月の能登半島地震発生時にも、避難が予想以上に長時間となり、炊き出しが必要になった。そこで、避難所にて炊出が必要になった場合の地区内での対応をマニュアル化することとなり、今回は事務局が作成したマニュアルの原案の内容を協議した。炊出用の米や梅干し等は自主防災協議会が地区独自に備蓄し、毎年更新することになり、また「避難所開設時の炊出ボランティア事前登録者」を拡充することにもなった。

❖ 避難所炊出ボランティアの事前登録者を募集します

国見地区自主防災組織連絡協議会では、避難所が開設された場合に避難所での炊出業務を担当するボランティアを募集しています。万が一の際に、避難所に集まって避難者に提供するおむすび等を調理するボランティアで、事前登録可能な方(男女を問わず)を募集しています。このボランティアは令和3年の8月から登録を始めていて、現在9名の方が事前登録しています。避難所開設の際には登録者全員が避難所に集合することは不可能で、ご自身や自宅の被災の状況等により参集可能な方だけがボランティア対応することになっていたので、今回登録者を拡充するために再度募集することとなりました。炊出の作業工程については、6月の研修会で炊出マニュアルを制定したので、経験の有無に関わらずどなたでも対応できます。詳細は公民館までお尋ねください。たくさんの方の事前登録をお願いいたします。

❖ 地区夏祭 幹事会

6月23日(日)の夜、国見公民館にて地区夏祭実行委員会の幹事会が開催され、約20名の理事や幹事が参集し、今年の地区夏祭の概要を決定した。今年の夏祭は8月3日(土)の午後6時30分から国見小中学校のグラウンドにて開催し、イベントとして「緑ヶ丘保育園児によるお遊戯」「北陸高校和太鼓部による太鼓演奏」「野村深山さんによる三味線演奏」「国見音頭」等が行なわれることになった。7月20日(土)夜に実行委員会を開催し運営の詳細を決定することになっている。



❖ 国見中柔道部 快挙達成!

先日の県中体連夏季総合競技大会で、国見中柔道部3年男子 長谷川想君が見事優勝を飾り、悲願の全国中学校柔道大会(全中)出場を勝ち取りました。また、2年女子の西村小枝さんが2位、水上陽穂さん、高橋日和さんが3位入賞を果たし、長谷川君、西村さん、水上さんの3名が北信越大会に出場します。これもひとえに、これまでご指導いただいている安川洋樹先生(国見柔道クラブ 鮎川町)はじめ、地域の皆様のあたたかいご支援のおかげと、心より感謝申し上げます。今後も応援よろしくお願いいたします。

北信越大会 : 8月8日(木) 新潟県上越市 謙信公武道館(新潟県立武道館)

全中大会 : 男子個人戦 8月23日(金) 長野県佐久市 長野県立武道館

(全中大会の応援は会場に入場制限ある為、家族と関係者のみとさせていただきます)



寄稿 : 国見中学校校長 正玄努

❖ 地区自治会連合会 定例区長会 7月定例区長会

<7月1日(月)>の主な議題は次のとおりでした。

- (1) 要望書(津波避難対応について)危機管理課長からの説明
 - ・ 鮎川会館の裏山擁壁工事は約2,000万円の経費見込で地元負担金有
- (2) 避難所炊出用備蓄米の運用について
 - ・ 備蓄米はまず15kg、1年後に10~20%引きの価格で有志が買取り
- (3) 国見地区夏祭について
 - ① 当日朝準備への協力再要請② 7月上旬にステージ購入(コミュニティ助成事業)の実績報告書予定
- (4) 国見地区青少年育成会
 - ① 町内子ども会支援事業② 地区子ども会支援事業申請が必要
- (5) 令和6年度地区敬老会: 10月17日(木)午前
 - ・ イベント: ① 二胡演奏② 落語③ そば同好会によるそば提供
- (5) 花壇コンクール(不死鳥のねがい(福井市市民憲章)推進協議会主催)
 - ・ 申込期間: 7月16日(火)~8月16日(金)鮎川町&小丹生町応募予定
- (6) 有線放送の運用
 - ① 地区内一斉放送の取止め(元農協会館のアンプ撤去)の方針
 - ② 公民館だよりの方針を地区民に説明し、12月の総会で決議予定

❖ 福井の海を守る会 総会

6月27日(木)午前、越廼公民館4階大ホールにて令

和6年度の「福井の海を守る会」の総会が開催され、国見地区からは自治会長の水上さん、辻岡さん、石丸さん、中野さん、小林さん(代理)、公民館長の6名が出席した。この会は福井市の沿岸4地域(棗、鷹巣、国見、越廼)の自治会長や関係団体長等で構成され、海岸の環境美化や広報による啓発活動を行なっている。国見地区にもこの会から清掃助成金として年間約15万円(4地区で世帯数案分)が提供されていて、各自治会の清掃奉仕活動での重機借上げ代、ごみ袋や軍手の購入代等に活用されている。昨年からの提言されていた回収後のごみの処分の迅速化については、本年度から年度当初に窓口(環境政策課: TEL 20-5609)へ各地区の清掃活動に関する年間計画表を提出することになっていて、今年は改善する予定とのことであった。計画外のボランティアによる清掃活動についても、事前に窓口へ連絡があれば対応するとのことであった。

❖ 地区有線放送の運営方法 の変更について

7月1日(月)に開催された区長会で国見地区の有線放送の今後について協議された。有線放送は国見有線放送組合が運営し、組合員が納付する聴取料(1戸あたり¥3,000円/年)を主な財源とし、NTT回線使用料、旧JA国見支店の賃借料、修繕費等を賄っている。本年度のNTT回線使用料は地区全体で年間¥271,656円であったが、令和7年度からは21%、令和8年度からは43%の値上げが通告されていて年間¥390,456円に増額される予定となっている。また旧JA国見支店に設置されている親機アンプは今後故障したら修理不可能と事業者から言われている。そこで、各自治会に設置されている子機アンプは残すことし、親機アンプを撤去すれば、地区全体の一斉放送は出来なくなるが、各町内の放送はこれまでどおり可能である。この場合、NTT回線使用料も支払う必要がなくなるので年間の支出はおよそ半分に減額され、聴取料も減額できる。今後、一斉放送の代替として、スマホでの情報配信も検討する。

各自治会長は地区全体の一斉放送が出来なくなっても町内ごとの放送が可能なら大きな支障はないとの意見であった。本年12月に開催予定の国見地区自治会連合会の定期総会でこの方針を説明し、了解を得ることとし、それまでに公民館だより等で住民へも説明することとなった。地区内一斉放送が出来なくなること等についてご意見のある方は自治会長か公民館長までご相談ください。

❖ クーリングシェルター (指定暑熱避難施設)

「気候変動適応法及び独立行政法人環境再生保全機構法の一部を改正する法律」第21条に「指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）」が規定された。福井市では、気温が特に著しく高くなることにより熱中症による人の健康に係る重大な被害を防止するため、市内の民間施設などをクーリングシェルターとして指定している。クーリングシェルターは、「熱中症特別警戒アラート

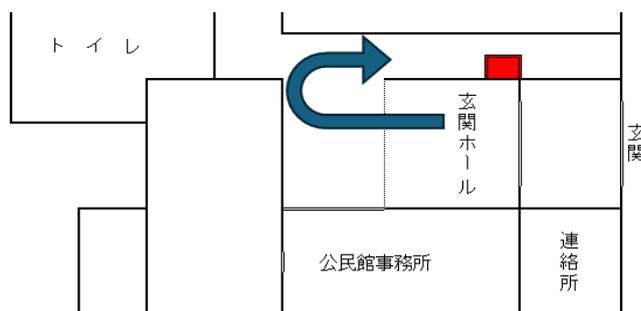
(<https://www.wbgt.env.go.jp/alert.php>)」が発表されたときなど、一般に開放し、暑さをしのぐ場所となる。国見地区内では国見郵便局(営業時間：平日午前9時～午後5時)が指定されている。なお「熱中症特別警戒アラート」の発表時以外も、夏の期間は一時的に暑さをしのぐ一時休憩所として利用できる。国見公民館は指定されていないが、開館時には指定されているクーリングシェルターと同様に地区内の皆さんに開放するので「暑くて体調が崩れそう」等と感じるときは、遠慮なく来館ください。

❖ つどいコーヒー 順調な滑り出し

「行きたくなる公民館」の取組として6月1日(土)から開始した「つどいコーヒー(1杯50円)」はまだ地区内全体への周知が徹底しているとは言えませんが、6月30日(日)までの1か月の協力金が



¥2,950円で、約60杯のコーヒーが地区民に飲まれたこととなります。お友達との打合せや暑い日の避暑等でのご利用をお待ちしています。場所は公民館の玄関から入って右側の1階談話スペースです。事務所に協力金(50円/杯)と引き換えに専用カップをお渡しします。



❖ 鮎川海水浴場 海開き

鮎川海水浴場の海開き(鮎川観光協会が主催)が、7月10日(水)午後、小寺副市長、福井市観光協会長、福井南警察署長、臨海消防署長、地区の商工会、警

察、消防、学校関係者等の来賓も併せた約30名が出席し開催され安全祈願の神事後、献花の代わりにサザエが海に撒かれた。鮎川観光協会の会長は今年から石丸濱夫さんから石丸隆夫さんに交代し若返り「たくさんのお客さんに来てもらい、安全で安心な海水浴場での楽しい思い出を作りたい。新幹線開業効果でインバウンドも含めて例年より多くのお客さんが来ることを期待している」と挨拶してい



今後開催予定のイベント等(対象:場所)

- 7月31日(水)・・・夏休みワイワイ広場(地区児童:くにみクラゲ公民館)
- 8月3日(水)・・・国見地区夏祭り(地区民:国見小、中学校)
- 8月6日(火)・・・夏休みワイワイ広場(地区児童:公民館)
- 8月28～30日・・・すこやか学級健康教室(各町内シルバー喫茶)